

令和6年度

奄美群島の概況



鹿児島県大島支庁

◇表紙写真◇

「徳之島世界遺産センター開所記念式典」

令和3年7月の「奄美大島，徳之島，沖縄島北部および西表島」（奄美・沖縄）の世界自然遺産登録を受け，世界自然遺産に関する情報発信や自然環境の保全に関する普及啓発等を行う徳之島の拠点として，令和6年12月22日に「徳之島世界遺産センター」が開所しました。開所に先駆け，前日の21日に「徳之島世界遺産センター開所記念式典」が開催されました。

施設では，世界遺産の山々を望む開放的な空間や生き物の細部にまでこだわったジオラマ展示などを楽しむことができ，徳之島の世界遺産としての価値である生物多様性や雄大な自然の魅力を伝えながら，訪れる人々にとって居場所となるくつろぎの空間となっています。

敷地内併設の「道の駅とくのしま」も同日オープンし，両施設が，徳之島のファンが増えていくきっかけの場所となることが期待されています。

は し が き

ここに令和6年度版「奄美群島の概況」を刊行します。

本書は、奄美群島振興開発事業の成果のほか、奄美群島の自然、行政、産業経済、教育及び文化などの各般にわたる統計資料等を総括的に集録し、現況と推移を明らかにしたものであります。

皆様には、行政運営、経済施策の樹立、学術研究及び諸計画立案の基礎資料として御活用いただければ幸いです。

本書の刊行に当たり、貴重な資料を提供いただきました関係機関並びに関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

令和7年3月

鹿児島県大島支庁長

松 藤 啓 介